

作成日：平成 24 年 10 月 15 日

日本色素販売株式会社

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名： Direct Roduline Red B
会社名： 日本色素販売株式会社
住所： 東京都中央区日本橋堀留町 1-2-1 日本色素本社ビル 4F
担当部署： 本社業務部
電話番号： 03-3663-6971
FAX 番号： 03-3663-7049

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響

GHS 分類

物理化学的危険性

火薬類	: 分類対象外
可燃性/引火性ガス	: 分類対象外
可燃性/引火性エアゾール	: 分類対象外
支燃/酸化ガス	: 分類対象外
高压ガス	: 分類対象外
引火性液体	: 分類対象外
可燃性固体	: 分類できない
自己反応性化学品	: 分類対象外
自然発火性液体	: 分類対象外
自然発火性固体	: 区分外
自己発熱性化学品物質	: 分類できない
水反応可燃性化学品	: 分類できない
酸化性液体	: 分類対象外
酸化性固体	: 分類できない
有機過酸化物	: 分類対象外
金属腐食物質	: 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	: 区分 5
急性毒性(経皮)	: 分類できない

急性毒性(吸入:ガス)	: 分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	: 分類できない
急性毒性(吸入:粉塵・ミスト)	: 分類できない
皮膚腐食性、刺激性	: 区分3
目に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 区分2A
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	: 分類できない
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
環境に対する有害性	
水性環境有害性・急性	: 区分2
水性環境有害性・慢性	: 分類できない

ラベル要素



絵表示

注意喚起語	: 警告
危険有害性情報	: 飲み込むと有害の恐れ 軽度の皮膚刺激 強い眼刺激 水性生物に毒性

注意書き

[安全対策]	: すべての安全注意書きを読み、理解するまで取り扱わないこと 防塵マスク/保護手袋/衣類/保護眼鏡/保護面を着用すること この製品を使用するときに飲食または喫煙をしないこと 粉塵/ガス/ミスト/蒸気の吸入を避けること 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること
--------	--

取扱後はよく手を洗うこと
環境への放出を避けること

[救急処置]

- 吸入した場合： 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は医師の診断/手当を受けること
- 飲み込んだ場合： 口をすすぐこと、無理に吐かせないこと
- 飲み込んだ場合： 直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合： 皮膚を流水・シャワー・多量の水と石鹼で洗うこと
- 皮膚に付着した場合： 汚染された衣類を脱ぐこと
- 皮膚に付着した場合： 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること
- 皮膚に付着した場合： 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断・手当を受けること
- 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- 眼に入った場合： 直ちに医師に連絡すること
- 暴露した場合は、医師に連絡すること

[保管]

容器を密閉して日光から遮断して換気の良い場所に保管すること。

[廃棄]

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に業務委託すること

3. 組成・成分情報

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
- 化学名 : アゾ系直接染料
- 成分及び含有量 : 当該染料
無機塩類
磷酸塩類
- 化学特性(化学式又は構造式) : 当該染料
- 官報公示整理番号(化審法) : 登録済
- 危険有害成分 : 該当しない

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、清水でよくうがいをする。
必要であれば医師の手当てを受ける。

- 皮膚に付着した場合 : 製品に触れた部分は水または石鹼を用いてよく洗い流す
- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で 15 分以上洗眼し、直ちに医師の処置を受ける。
- 飲みこんだ場合 : 水でよく口の中を洗浄し、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 消化剤 : 水・粉末消火剤、炭酸ガス、泡消火剤
- 使ってはならない消化剤 : 情報なし
- 消火方法 : 消火活動は風上から行い有毒なガスの吸入を避ける。
危険でなければ、容器を火災区域から移動する。
移動不可の場合には、容器及び周囲に散水し、冷却する。
粉じんに引火する可能性があるため、火災現場における粉体製品の取扱いに注意する。
火元の燃焼元を絶ち、消火剤を使用して消火する。
火災発生場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 特有の危険有害性 : 燃焼時には CO、CO₂、NO_x、Sox 等の有害ガスが発生する恐れがある。
- その他の情報 : 消火作業を行う際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止し、作業の際には保護具(製品の性状に適したものを指定する)飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入したりしないようにする。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。また、大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないよう注意する。
- 除去方法 : 少量の場合、漏出液はペーパータオル、ウエス、砂等に吸収させて空容器に回収し適切な廃棄処理を行い、その後多量の水で洗い流す。多量の場合、土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、密閉可能な容器に出来るだけ回収し、その後は少量の場合と同様の処置を行う。
- 二次災害の防止策 : 回収した後に洗い流すが、この場合、濃厚な液が河川等に

排出されないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 化学製品を取り扱う際の通常の予防策を遵守する。
- 注意事項 : 粉じん対策の完備した施設または局所排気装置を使用する
基本的に屋外での取扱いは行わない
水分の吸湿、異物混入防止のため、使用後は速やかに容器にふたをする。
皮膚や眼への付着を避ける
接触、吸入または飲み込まないこと
製品の粉じんやミストの吸入を避ける
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと
扱後はよく手を洗うこと
- 安全取扱い注意事項 : 適切な保護具を着用する。

保管

- 適切な保管条件 : 容器を密閉して、直射日光を避け換気の良い場所で保管すること
施錠して保管すること

8. 曝露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。適切な排気換気装置を使用する。
- 管理濃度 : 設定されていない
- 許容濃度(日本産業衛生学会 2008) :
第3種粉じん: 2mg/m³(吸入性粉じん)
8mg/m³(総粉じん)
- 許容濃度(ACGIH 2008) : 他に分類されない粉じんとして 3mg/m³(吸入性粉じん)
10mg/m³(総粉じん)

保護具

- 呼吸器用の保護具 : 保護マスク(防塵マスクが好ましい)
- 手の保護具 : 保護手袋(ゴム手袋が好ましい)
- 眼の保護具 : 保護眼鏡(ゴーグル型が好ましい)
- 皮膚及び身体の保護具 : 作業衣、長靴、帽子
- 衛生対策 : 保護具は、保護具点検表により定期的に点検する。
作業中は飲食しない

飲食等の場合は石鹼で手を洗う

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	: 粉体
色	: 黒赤色
臭い	: なし
PH	: データなし
融点・凝固点	: データなし
引火点	: データなし
比重	: データなし
溶解度	: 45g/L(水・80°C)

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の取扱条件において安定
反応性	: 知見なし
避けるべき条件	: 高温、強酸化剤との接触
混色危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 燃焼等により危険な CO、CO ₂ 、NO _x 、SO _x 等の有害なガスが発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性(経口 LD50 値)	: データなし
急性毒性(経皮 LD50 値)	: データなし
皮膚腐食性/刺激性	: 磷酸塩類の情報
眼に対する重篤な損傷 / 刺激性	: 磷酸塩類の情報
呼吸器感受性	: データなし
皮膚感受性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器・全身毒性-単回暴露	: データなし
特定標的臓器・全身毒性-反復暴露	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性 : データなし

分解性 : データなし

生体蓄積性 : データなし

土壤中の移動性 : データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 適切な施設で焼却によって処理するか、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託する。これを含む廃水は、その地区を規制する法律に従って処理する。

空容器・包装材料 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国連分類・国連番号 : 該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件 : 直射日光を避ける。輸送前に容器の破損、漏れがないことを確かめる。転倒、落下、破損の無いように荷崩れ防止措置を確実にを行う。

15. 適用法令

国内適用法令

毒物・劇物法 : 該当しない

PRTR 法 : 該当しない

労働安全衛生法 : 該当しない

水質汚濁防止法 : 排水の燐含有の項目、水素イオン濃度の項目
(含有燐酸塩類)

16. その他の情報

この情報は新しい知見に基づいて改定されることがあります。記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。また、注意事項は通常の実用性を対象としたものですので、特別な扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱下さい。